



# 119

令和4年5月1日 発行・編集／甘木・朝倉消防本部



福岡県朝倉市一木18-20 TEL.0946-22-0119 FAX.0946-24-1334

URL : <https://aakouiki.jp/aafiredept/>  
E-mail : aafd119@city.asakura.lg.jp

## 新水槽付ポンプ車配備



西部分署(筑前町下高場)の消防車両が更新されました!!

福岡県の救急医療電話相談窓口

救急車? 病院? 迷ったら(24時間受付)

病院案内・救急電話相談は

#7119 短縮ダイヤルが繋がらない場合は

☎092-471-0099

小児救急医療電話相談は

#8000 短縮ダイヤルが繋がらない場合は

☎092-731-4119

[平 日] 19:00~翌朝7:00 [土曜日] 12:00~翌朝7:00  
[日・祝] 7:00~翌朝7:00

2022年度全国統一防火標語

お出かけは マスク戸締り 火の用心

# 平成29年7月九州北部豪雨から5年…

## 今、私たちにできることは

### (概要)

平成29年7月5日から6日にかけて、九州北部を中心に猛烈な雨が降り、5日には、当時九州で初めて大雨特別警報が発令されるなど、観測史上最も多い記録的な雨量を観測しました。

この豪雨で朝倉市、東峰村及び大分県日田市では39名の尊い命が失われ、2名の方が未だに行方不明となっています。



(豪雨時の旧松末小学校付近)

## 過去、現在、そして未来へ…

(平成29年7月九州北部豪雨当時の杷木寒水地区区長 満生直樹さん)

### Q. 豪雨発生時のことを教えてください

通常どおり飲食店を営業していました。雨が降り続いて夕方頃には店の前の道は川のようになっていました。家の近くでは車が動けなくなっており、車内に高齢の方がいたので助け出しました。その後は雨が小康状態になったので近所を回り、泥だらけになりながら3名の方を店に避難させました。

押し寄せる濁流は大きな石や流木を含み大変危険で、のみ込まれたら命が無くなっていたかもしれません。

### Q. 復旧、復興時の状況を教えてください

被災後は寒水地区にも大勢のボランティアの方が来て下さり、土砂や家財の搬出をしていただきました。おかげさまで、復旧することができました。ただ、河川の工事が終わっておらず、帰って来れない人もいます。



(被災直後の寒水川)

### Q. 今伝えたいこと

避難所では特に水が重要で、非常持ち出し品としてランドセルにペットボトル等を入れることで、水の確保には役立つと思います。私は家族で2カ月半ほど避難所生活をしましたが、プライバシー面で苦労しましたので避難先については縁故避難\*など検討しておくことも大切だと思いました。

早い避難をして災害が起きず空振りになっても、それは災害に対応するための素振り(練習)だと思って早期避難することが命を守る行動に繋がると思います。

※縁故避難とは、親戚や知人などの家へ避難することをいいます。

## 久喜宮地域防災拠点施設

平常時は防災訓練や研修会、防災教育の場として活用され、土のうや非常食を備蓄し、災害時には炊き出しを行うなど防災の拠点となります。



## 自助・共助・公助 ～災害に備えて～

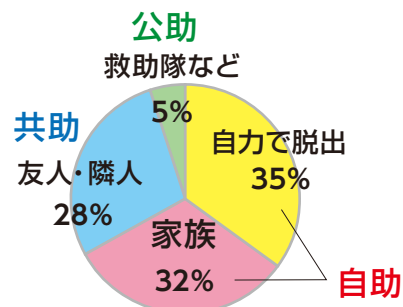
災害の被害を少しでも減らすためには、「自助」「共助」「公助」の3つの連携がとても重要です。

**自助**：自分自身の身の安全を守ること。

**共助**：隣近所、地域全体で力をあわせて助け合い守ること。

**公助**：消防、警察、自衛隊、市町村等の公共の機関により助けられること。

災害時の助けは、一般的に「自助7割、共助2割、公助1割」といわれています。さらに、災害が大規模になれば、公助(行政)の対応力は小さくなり、自助・共助の重要性が増大します。よって、普段から「自助」「共助」の充実を図っておくことが重要となります。



阪神・淡路大震災時の自助・公助・共助の割合

## 日頃から、自助・共助の力の向上を心掛けましょう！

### 自助編 ～自分でできる取り組み～

#### (事前準備)

- ① 非常持ち出し品や備蓄品の準備
- ② 家具の転倒防止やガラスの飛散防止対策
- ③ ハザードマップ等で危険箇所を把握し、避難ルートや避難場所を確認



#### (豪雨が予想される時)

- ① 豪雨になる前の早めの避難(安全な場所へ)
- ② 定期的な気象情報の確認
- ③ 危険を感じた時の水平避難と垂直避難※

※水平避難とはなるべく遠い安全な場所へ、垂直避難とはなるべく高い安全な場所に避難すること

#### ハザードマップの確認



各市町村名 ハザードマップ

検索

### 共助編 ～地域みんなで助け合う！～

災害時は、地域での助け合いが不可欠です。隣近所や地域全体で力を合わせ、高齢者などの自力で避難が出来ない方の手助けをしたり、避難所運営を協力するなど、お互いに助け合う『共助』が重要な役割を果たします。

『自分たちの地域は自分たちで守る』ために、自主防災組織※の活動に参加する等、日頃から地域のつながりを大切にし、地域での助け合いについて備えていきましょう。

※自主防災組織とは、地域やコミュニティ単位の自主的に結成された組織で、防災意識の向上を目的とした防災啓発活動や防災訓練等の活動を行います。



#### 各地域における防災への取り組み



令和3年12月11日(土)  
筑前町の道の駅で実施された防災発信拠点事業での訓練の様子



令和3年6月27日(日)  
東峰村全域で地震を想定して実施された防災避難訓練の様子

## 違反対象物の公表制度のご案内

### 住民の皆様へ建物の安全情報を提供します

「違反対象物の公表制度」は、建物の利用者の方が、自ら火災危険性に関する情報を入手し、安心して建物を利用することができるよう、消防署等が保有する建物の火災危険性に関する情報（**重大な消防法令違反**）をホームページで公表するものです。

違反対象物情報は各消防本部のホームページで公表されます。



## 職員意見発表会を開催しました

令和4年2月28日、甘木・朝倉消防本部において「第43回甘木・朝倉消防職員意見発表会」を開催し、4名の職員が「消防防災に関すること」をテーマに、それぞれの熱い想いを発表しました。

最優秀賞に輝いた池本将太消防士は、「地域防災の最後の砦として」と題し、近年多く発生する大規模な災害などに対応するため、訓練をより充実したものとするための方策を提案しました。

甘木・朝倉消防本部では、住民の皆さまの安心・安全を守るよう、様々な工夫をしながら日々の業務に取り組んでいます。



池本将太消防士

## ホームページを活用してください!!

消火器の使い方、知っていますか？

ホームページに、動画で分かりやすく紹介しています。

その他にも、日々の訓練や各種案内等を掲載していますので、ぜひご覧ください！

甘木・朝倉消防本部

検索



## 甘木・朝倉広域市町村圏事務組合事務局移転のお知らせ

令和4年4月1日から、下記のとおり事務局を甘木・朝倉消防本部に移転しました。

(新) 朝倉市一木18番地20 甘木・朝倉消防本部 3階

なお、電話番号の変更はありません。

